

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2005-526813(P2005-526813A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2003-580313(P2003-580313)

【国際特許分類】

C 0 7 D 309/14 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 H 9/04 (2006.01)

C 0 7 H 15/18 (2006.01)

C 0 7 H 15/20 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 309/14 Z C C

C 0 7 D 405/12 C S P

C 0 7 H 9/04

C 0 7 H 15/18

C 0 7 H 15/20

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月30日(2006.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

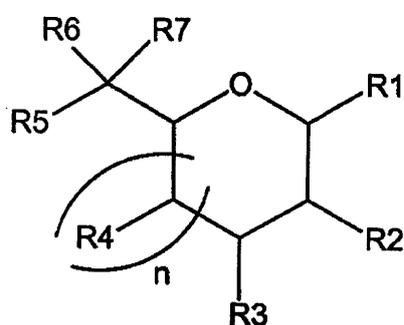
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

式 I

【化1】



式 I

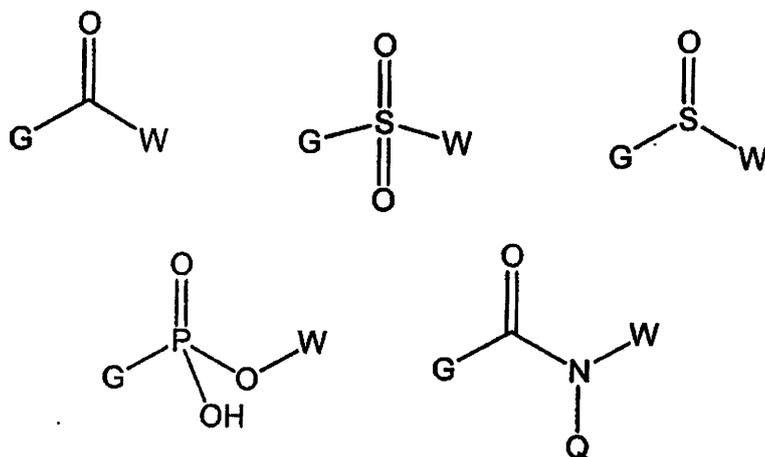
〔ここで、nは、0または1であり；

R1は、水素または-N(Z)Yからなる群より選択され、ここで、R1が-N(Z)Yである場合；

R6およびR7は水素であり；

Yは、水素または以下より選択され、ここで、Gは、N(Y)Z中の窒素原子への結合点を示し；

【化 2】



Z は、水素または X 1 より選択され；

Q は、水素または W より選択され；

W 基は、独立して、置換または非置換の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルからなる群より選択され；

X 1 基は、独立して、置換または非置換の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 2、R 3、R 4 および R 5 基の少なくとも 1 つは、- O X 2 または - N (T) Y からなる群より選択され、そして他の R 2、R 3、R 4 および R 5 基は、独立して、水素、- O H、- O X 2、- N (T) Y より選択され、ここで、Y は、上に定義される通りであり、T は、水素または X 2 より選択され；そして X 2 は、独立して、置換または非置換の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキル、またはヘテロアリールアルキルより選択され、

ただし、

a . X 2 は、別の炭水化物環、シクリトール環でなくてもよく、または別の炭水化物環を含んでもよく、

b . 全ての X 2 置換基は、同じでなくてもよく；

R 1 が H の場合、

R 6 および R 7 は、水素であるか、または一緒になってカルボニル酸素を形成し；

R 2、R 3、R 4 および R 5 基の少なくとも 2 つは、- O X 2 または - N (T) Y からなる群より選択され、そして他は、独立して、水素、- O H、- O X 2、- N (T) Y より選択され、ここで、Y は、上に定義される通りであり、T は、水素または X 2 より選択され；そして X 2 は、独立して、置換または非置換の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキル、またはヘテロアリールアルキルより選択され、

ただし、

c . X 2 は、別の炭水化物環、シクリトール環でなくてもよく、または別の炭水化物環を含んでもよく、

d . 全ての X 2 置換基は、同じでなくてもよい。]

の化合物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3 0

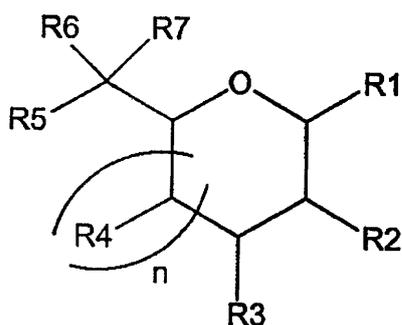
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項30】

式I

【化15】



式I

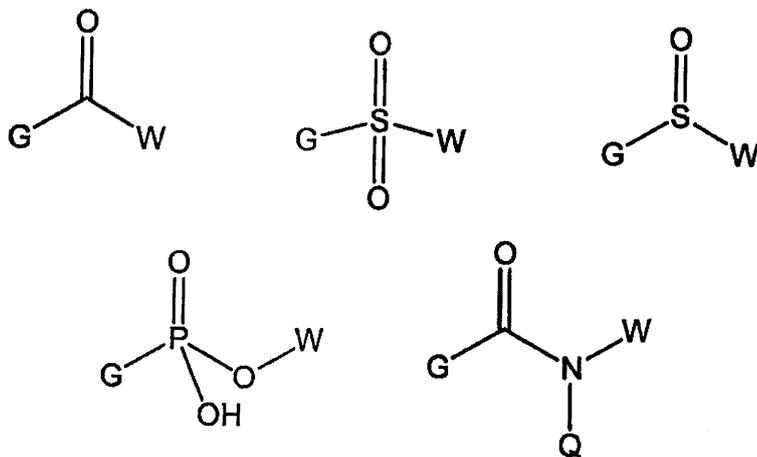
〔ここで、nは、0または1であり；

R6およびR7は、水素であるか、または一緒になってカルボニル酸素を形成し；

R1は、水素；-N(Z)Yおよび-C(Z)Yからなる群より選択され、ここで、R1が-N(Z)Yである場合；

Yは、水素または以下より選択され、ここで、Gは、N(Y)Z中の窒素原子への結合点を示し；

【化16】



Zは、水素またはX1より選択され；

Qは、水素またはWより選択され；

W基は、独立して、1～20原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルからなる群より選択され；

X1基は、独立して、1～20原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R1が-C(Z)Yである場合；

Yは、2つの水素原子、カルボニルを形成する二重結合の酸素(=O)、およびニトリルを形成する三重結合の窒素からなる群より選択され、

Zは、なしであるか、または水素もしくはUより選択され、

ここで、Uは、1～20原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテロアリールオキシ

、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリール、もしくはチオヘテロアリール、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 1 が H である場合、R 2、R 3、R 4 および R 5 基の少なくとも 2 つは、- O X 2 または - N (T) Y からなる群より選択され、そして他は、独立して、水素、- O H、- O X 2、- N (T) Y より選択され、ここで、Y は、上に定義される通りであり、T は、水素または X 2 より選択され；そして X 2 は、独立して、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキル、またはヘテロアリールアルキルより選択され、

R 1 が N (Z) Y または C (Z) Y の場合、R 2、R 3、R 4 および R 5 基の少なくとも 1 つは、- O X 2 または - N (T) Y からなる群より選択され、そして他は、独立して、水素、- O H、- O X 2、- N (T) Y より選択され、ここで、Y は、上に定義される通りであり、T は、水素または X 2 より選択され；そして X 2 は、独立して、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキル、またはヘテロアリールアルキルより選択され、

ただし、

a . X 2 は、別の炭水化物環、シクリトール環でなくてもよく、または別の炭水化物環を含んでもよく、

b . 全ての X 2 置換基は、同じでなくてもよく、そして

c . R 1 が C (Z) Y である場合、Z は C = O であり、R 5 は N (T) Y であり、T および Y は共に水素でなくてよく、または Y はアミノ酸またはペプチドでなくてもよい。]

の化合物。